

安定取引関係確立事業活動の概要



事業者：株式会社えん・コミュニケーションズ

計画概要

明太子の原材料となる助子（スケトウダラの卵巣）は大半を輸入に依存しているが、昨今の水産資源量減少や為替変動の影響を強く受けており、安定的な原料調達が喫緊の課題となっている。今回、北海道の漁業者からの助子仕入量を拡大し、国産原材料を用いた明太子を増産する。あわせて、明太子調味液注入ライン（明太子に調味液を直接注入する装置）を2台導入し、食感やコクなど食味の向上を図り、商品の高付加価値化による収益拡大を目指す。

目標

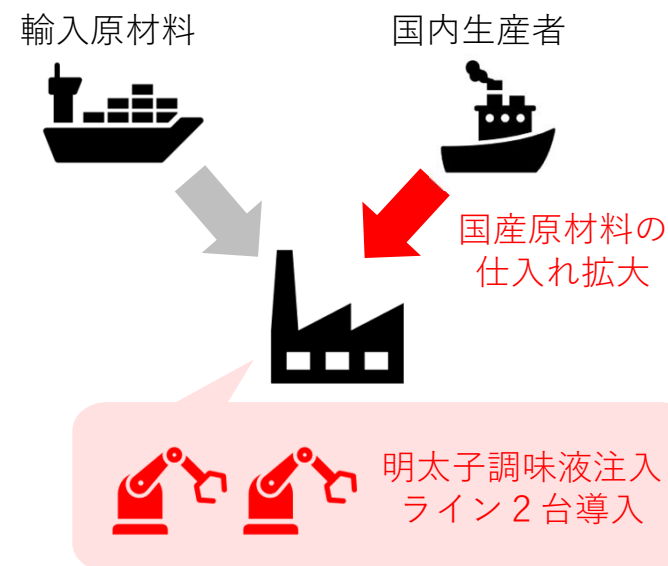
明太子原料の助子を外国産から国産への切替えを進め、北海道の漁業者からの仕入量を0tから2031年3月（目標年度）までに30tに拡大する。

食料システムへの寄与

北海道の漁業者からの助子仕入量を拡大させることで、漁業者の所得向上と経営の安定化に寄与し、北海道砂原地区の主要産業である漁業や水産加工業の発展と持続的な食品の供給体制の確立に貢献する。

また、安心安全な国産水産物を求める消費者の利益増進に寄与する。

計画のイメージ



(2026年5月14日認定)